

こんろやグリルの事故

事故の概要

【事例①】住宅から出火し、棟続きの店舗兼住宅5戸を焼き、1人が死亡して2人がやけどを負った。

【事例②】住宅から出火して全焼し、頭などにやけどを負った。

事故の原因

【事例①】こんろに天ぷら鍋をかけたまま放置したため、鍋の油が過熱したものです。



少ない油量の200ccを加熱したところ、5分50秒後に発火しました



受け皿に油脂がたまった状態で点火し、排気口から出る炎

【事例②】グリル排気口付近に溜まった油脂分に、こんろの火が着火して火炎が上がったため、古着で消火しようとしたところ火が燃え移ったものです。



事故防止のために

- ◆天ぷらなど調理中はその場を離れないでください。離れる時は必ず火を消してください。
- ◆グリルの使用後や連続使用の際は、グリル受け皿や焼き網、下火力バーなどにたまった脂や食品くずは取り除いてください。
- ◆未接続のガス栓は、誤開放しないように注意してください。また閉栓カバーを付けるなど誤開放の防止をしてください。
- ◆服の袖などに火が移りますので近づき過ぎないでください。直接火に当たらなくてもバーナー上で着火することがあります。
- ◆こんろを設置する時は、壁から15cm以上離してください。壁の中の木材が炭化して燃えるおそれがあります。

